

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
基礎はりきゅう学11							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・昼間部	2年	3期	西野 祐介				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	基礎はり学基礎きゅう学			座学	1	10	
科目概要							
はりきゅう理論 教科書 P1～P69までの範囲について学ぶ。 鍼の基礎知識、刺鍼の方式と術式、特殊鍼法、灸の基礎知識、灸術の種類、リスク管理、鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識の運動系、内臓系の調節、体性感覚について学ぶ。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	鍼灸の臨床において安全かつ効果的に施術できるように鍼の知識、灸の知識、リスク管理を身に着ける。また鍼灸の効果を理解するために必要な知識、とくに生体における運動系の調節や内臓系の調節、また体性感覚について理解する。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	①鍼の長さ、太さ、鍼の特徴などについて理解し、4択問題で正答を選択できる。 ②灸の種類、特徴、歴史などについて理解し、4択問題で正答を選択できる。 ③鍼灸のリスクと対処法について理解し、4択問題で正答を選択できる。 ④鍼灸治効を理解するために必要な生体の知識を身に付け、4択問題で正答を選択できる。					
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学・生理学							
教科書・参考書							
はりきゅう理論							
受講上の注意							
生理学、解剖学で学んだ知識が必要になる場合もあります。 説明を入れることもありますが、あやふやな所や覚えていない所はぜひ自身で調べてみましょう。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	1章 概論 2章 鍼の基礎知識 用具—鍼と鍼管			p1～p6	プリント 筆記用具		
第2回	2章 鍼の基礎知識 古代九鍼 3章 刺鍼の方式と術式 刺鍼の方式 刺鍼の術式			p7～p12	プリント 筆記用具		
第3回	3章 刺鍼の方式と術式 刺鍼中の手技 4章 特殊鍼法			p13～p20	プリント 筆記用具		
第4回	5章 灸の基礎知識 6章 灸術の種類			p21～p28	プリント 筆記用具		
第5回	7章 リスク管理 安全対策の基本 7章 リスク管理 感染対策			p29～p38	プリント 筆記用具		
第6回	7章 リスク管理 有害事象の種類の対処法			p39～45	プリント 筆記用具		
第7回	8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識 はじめに 8章 生体の調節 運動系の調節			p47～54	プリント 筆記用具		
第8回	8章 生体の調節 内臓系の調節			p55～p63	プリント 筆記用具		
第9回	8章 感覚 体性感覚～順応			p64～p69	プリント 筆記用具		
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
nishino@nihonisen.ac.jp							